

5. 療養終了後のウイルスの感染性について

厚生労働省によると・・・

新型コロナウイルスに罹患した患者について、療養解除の要件を満たした場合、

PCR検査を行わずに療養終了してよい とされています。

解除後に感染を広げてしまうリスクは？

厚生労働省によると、ウイルスの感染可能期間は

発症2日前から発症後7～10日程度と考えられています。

(新型コロナウイルス感染症COVID-19診療の手引き <https://www.mhlw.go.jp/content/000888565.pdf> 参照)

また、ウイルス培養等の学術研究による科学的根拠からも、

新型コロナウイルスの体内ウイルスは**発症から7～10日程度で死滅し、**

感染性が失われるとされています。

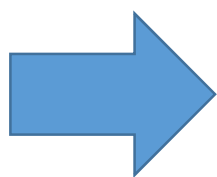
一方で、感染力を持たない死滅したウイルスはすぐに排出されず、

多くの場合、**しばらく体内に残っています。**

PCR検査はウイルスの遺伝子の特定の領域を検出しているものであり、

ウイルスそのものを検出しているわけではありません。

療養終了後、陰性確認のためにPCR検査を受検しても、



＜死んだウイルスの破片＞に反応し、

ウイルスが死滅しているにも関わらず、

長期にわたって陽性反応となる ことがあります。

これらのことから、国の定める解除要件を満たして療養終了した方について、他人に感染させる可能性は限りなく低いと考えられています。

(参考文献) ①He, X., Lau, E.H.Y., Wu, P. et al. Temporal dynamics in viral shedding and transmissibility of COVID-19. Nat Med 26, 672–675 (2020) ②

Michael J. Mina, M.D., Ph.D., Roy Parker, Ph.D., and Daniel B. Larremore, Ph.D., Rethinking Covid-19 Test Sensitivity — A Strategy for Containment, Med

2020; 383:e12, 0November 26, 2020 ③Wolfel, R et al. Accelerated Article Preview.Nature. Published Online 1 April, 2020 ④厚生労働省 (2021), 新型

コロナウイルス感染症COVID-19診療の手引き 第6.2版 (2022年1月27日改訂), <https://www.mhlw.go.jp/content/000888565.pdf>